

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(4/14)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区(AAAシティおかやま) (岡山市)	正	4.0	4.4	3.5	4.0	<p>・介護予防ポイント、介護機器貸与プロジェクトという全国でも先進的な取組を着実に実行し、効果を上げている点は高く評価できる。今後は他地域での政策決定の根拠となるようなデータ収集が望まれる。</p> <p>・現在急増している高齢者は団塊世代の「元気シニア」であり、通所介護サービスの一人当たりの給付額の伸びと高齢者の増加率の伸びを比較するのは適当でない。</p> <p>・在宅要介護高齢者の割合を正確に把握するために、施設定員数の状況等、補足的な情報が必要である。</p> <p>・介護保険料以外の在宅介護費用についても、更なる調査によってより明確に示すべきである。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。